

九州産業大学大学院

KYUSHU SANGYO UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL



令和2年度 研究成果発表会

作品名：UNDER REPAIR— 朝鮮民主 主義人民共和国 ドキュメンタリー

博士前期課程

芸術研究科 造形表現専攻 写真領域

羅 家恵

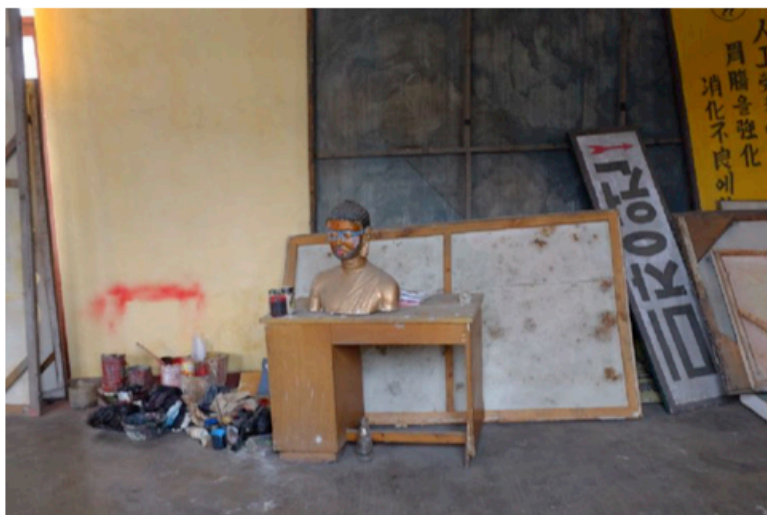
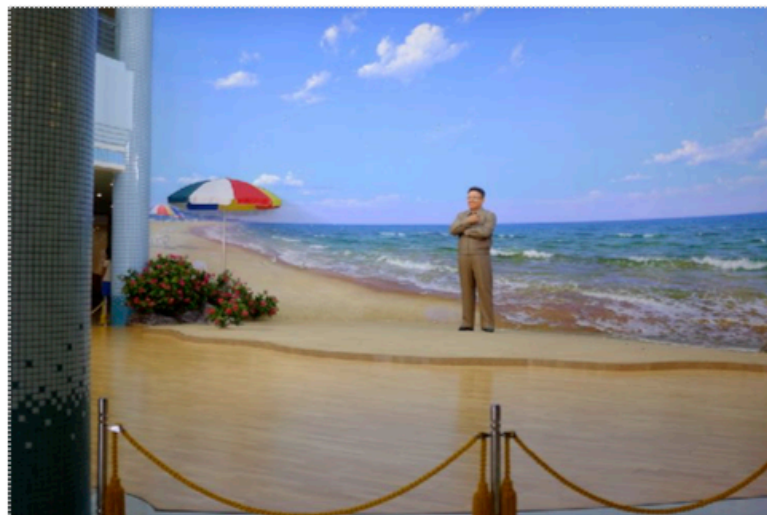
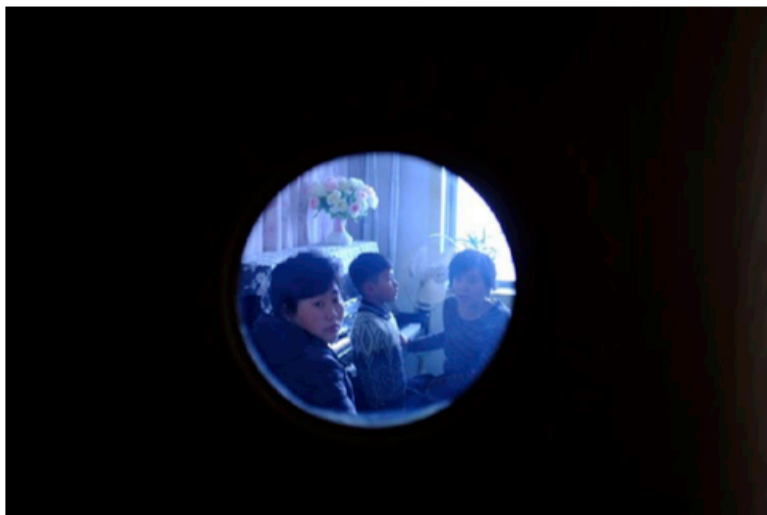
主査 百瀬俊哉
副査 大日方欣一
佐藤慈

作品制作の背景

北朝鮮を撮影するという構想は長年あった。中国や日本では隣国であるにもかかわらず、ニュースやテレビ越しでしか見られないために、まるで別世界の様に報道されている。しかし、そこには我々とかわりのない人々の穏やかな生活の一面も垣間見ることができる。1970年代の中国の原風景に似ているという印象を持つ者も多いようである。しかし筆者はむしろ、中国の将来の姿ではないだろうかと感じた。

作品の解説

平壤や新義州で市民達の日常生活を記録したドキュメンタリー撮影作品を50枚セレクトし、今回の作品としてまとめた。旅で、この隣国に対して、私はなにもわかってないということを、何度も認識されてくれた。写真で記録したことは、言葉より真摯だ。だが映されない風景は、見物者の想像に現れる。人間の思想は、限られている空間でも、不幸の人生でも、止められない自由があるということを教えてくれた。



指導教員コメント

北朝鮮民主主義人民共和国の今を写真で記録している。撮影内容については、平壤や新義州で人々の日常にかかわる場所などを、中心に撮影している力作である。

現地での自分の体験と感想を論文において活字化することにより、厚みのある表現を感じさせている。今後の活動に期待する。

百瀬俊哉